

こ あ い さ つ

皆様方におかれましては、平素から大変お世話になっており、改めて厚くお礼を申し上げます。

新しい年を迎え、2月に開幕した冬季オリンピックで日本選手は史上最多の13個のメダルを獲得するなど、選手団主将の小平奈緒さんが掲げた「百花繚乱」にふさわしいメダルラッシュとなりました。羽生結弦選手の復活の演技など話題は枚挙にいとまがありませんが感動をありがとうございますと思います。次の東京五輪に向けて弾みがつきました。

その東京オリンピック・パラリンピックを2年後に控え、広島県内ではメキシコ選手団の事前合宿を4月から10市町で順次受け入れています。福山市でもバドミントンやスポーツライミングなど8競技の選手団をお迎えする予定ですが、合宿環境の充実など各市町の受入体制の充実に全力で取り組んでいくとともに、ソフト面で選手団との交流、県民・企業の関心を高めていく必要があります。そうすることで、経済的・文化的につながりの深いメキシコ合衆国と確固たる基盤を築くとともに、世界の恒久平和を希求する広島県民の心が広く伝わっていく機会となってくれたらと考えています。

さて、経済動向では、我が国の景気は「緩やかに回復している」と、7ヶ月ぶりに景気判断が引き上げられたところで、本県の有効求人倍率は、実に43年ぶりに2倍台となり、東京に次ぐ高水準となりました。

国においては、景気の下支えなどのため、2兆7千億円余の補正予算が成立したところであります。本県におきましても、平成30年度当初予算と一体での編成によって、本県経済を更に活性化させ、県内の隅々まで波及効果をもたらすことが求められるところです。

新年度は、湯崎県政3期目の最初の年として、「希望をかなえるための後押し」、「ゆとりの創出」、「地域活力の基盤づくり」、「暮らしを楽しむ機会の創出」、「災害に強いまちづくり」、「広島の価値の共鳴・共振」の6つの分野で主要事業を展開することで「欲張りなライフスタイル」の実現に向けて取り組むこととしています。とりわけ、第4次産業革命を好機とした生産性革命、中山間地域の地域力強化及び都市圏の活力強化、スポーツを核とした地域づくりの4つの視点から特徴を持った施策を進めるとされております。県内景気が緩やかに拡大している今がチャンスであるので、積極的に事業推進をお願いしたいと思います。

こうした中、広島県議会2月定例会は、2月16日に開会し、27日間にわたる審議を終え、3月14日に閉会しました。

本定例会では、今後4年間の県政運営と平成30年度予算案、中山間地域振興対策、地域産材の利用促進、水道事業の広域化、ひろしま版ネウボラ事業の検証と課題、小規模企業の支援などの県政が直面する重要な課題について論戦が交わされたところです。

また、福山市への予算措置状況は、県政トピックスに掲載しておりますので、ご一読ください。

今後とも、広島県の発展と活力ある福山市の実現に向け、皆様の多様な意見を反映できるよう、全力で取り組んでまいりますので、これまで以上のご支援を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、忌憚のないご意見・ご要望をお寄せいただければ幸いです。